

2023年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月10日

上場会社名 キャリアバンク株式会社

上場取引所 札

コード番号 4834 URL <https://www.career-bank.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 良雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長兼経営管理部長 (氏名) 橋本 正太

TEL 011-251-3373

四半期報告書提出予定日 2023年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券会社及び金融機関向け

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日～2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	3,505	0.1	54	46.4	58	43.3	97	21.7
2022年5月期第2四半期	3,500	32.6	101		102		125	

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 67百万円 (22.4%) 2022年5月期第2四半期 86百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	98.54	
2022年5月期第2四半期	125.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第2四半期	3,984	1,706	27.3	1,094.73
2022年5月期	3,924	1,656	25.0	987.97

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 1,087百万円 2022年5月期 981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期		0.00		13.00	13.00
2023年5月期		0.00			
2023年5月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日～2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,421	0.3	343	37.9	339	36.6	158	84.8	159.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年5月期2Q	993,000 株	2022年5月期	993,000 株
期末自己株式数	2023年5月期2Q	株	2022年5月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年5月期2Q	993,000 株	2022年5月期2Q	993,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響からの経済社会活動の正常化の動きが進むなか、ウクライナ情勢の長期化や原材料価格の高騰による物価上昇など、不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の対策を継続実施しつつ、企業と人材を繋ぐ役割と機能を果たし、質の高い人材サービスの提供を通じて、双方が求めるニーズに応じてまいりました。

人材派遣関連事業においては、前年同期に計上した新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に係る売上高が減少したことから、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材派遣関連事業（関東）においては、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント及び推奨販売等の対面で行う業務の回復が予想より遅れており、売上高及びセグメント利益が前年同期を下回りました。人材紹介事業においては、人材の流動化による求人ニーズへ迅速に対応したことで成約数が伸びたことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。再就職支援事業においては、受託事業が増加したことにより、売上高及びセグメント利益が前年同期を上回りました。BPO事業においては、給与計算処理人数及び新規顧客の導入関連売上が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。セグメント利益については、オペレーション部門強化に伴う労務費増加及び設備投資に伴う減価償却費増加により前年同期を下回りました。日本語学校運営事業においては、前年同期に起こっていた新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限で新規の留学生が入国出来ない状況が解消されたことにより、売上高が前年同期を上回り、セグメント損失が縮小しました。その他事業は、ソフトウェア・ハードウェア開発事業が加わったことにより、売上高が前年同期を上回りましたが、中国語語学研修事業及びメンタルヘルス事業の業績が縮小したため、セグメント利益が前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高3,505,447千円（前年同期比0.1%増）、営業利益54,686千円（前年同期比46.4%減）、経常利益58,110千円（前年同期比43.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益97,854千円（前年同期比21.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,345千円増加し、3,117,507千円となりました。これは主に売掛金の増加726,884千円と現金及び預金の減少743,095千円との差額等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ55,258千円増加し、866,998千円となりました。

この結果、総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ59,603千円増加し、3,984,506千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ29,096千円減少し、1,703,472千円となりました。これは主に未払費用の減少70,988千円、未払消費税等の減少131,726千円及び1年内返済予定の長期借入金の増加149,410千円等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ39,005千円増加し、574,995千円となりました。これは主に長期借入金の増加33,035千円によるものであります。

この結果、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ9,908千円増加し、2,278,468千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ49,695千円増加し、1,706,037千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月15日に発表いたしました2023年5月期(2022年6月1日から2023年5月31日)の業績予想に関しまして、変更はありません。

また、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,193,968	1,450,872
売掛金及び契約資産	742,401	1,469,285
その他	177,214	197,995
貸倒引当金	△422	△646
流動資産合計	3,113,162	3,117,507
固定資産		
有形固定資産	199,891	192,411
無形固定資産		
のれん	107,181	97,446
その他	232,053	231,424
無形固定資産合計	339,234	328,870
投資その他の資産	272,613	345,717
固定資産合計	811,739	866,998
資産合計	3,924,902	3,984,506
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,063	140,313
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	35,805	185,216
1年内償還予定の社債	14,000	7,000
未払費用	398,605	327,616
未払法人税等	79,806	94,923
未払消費税等	202,383	70,657
賞与引当金	—	56,126
その他	319,905	221,620
流動負債合計	1,732,569	1,703,472
固定負債		
長期借入金	516,153	549,188
その他	19,837	25,807
固定負債合計	535,990	574,995
負債合計	2,268,559	2,278,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,240	256,240
資本剰余金	104,184	105,617
利益剰余金	559,368	644,314
株主資本合計	919,793	1,006,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,377	60,776
為替換算調整勘定	13,882	20,122
その他の包括利益累計額合計	61,260	80,898
非支配株主持分	675,287	618,966
純資産合計	1,656,342	1,706,037
負債純資産合計	3,924,902	3,984,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
売上高	3,500,355	3,505,447
売上原価	2,828,671	2,786,003
売上総利益	671,684	719,443
販売費及び一般管理費	569,741	664,756
営業利益	101,943	54,686
営業外収益		
受取賃貸料	4,233	4,173
受取配当金	1,338	1,529
その他	2,699	4,599
営業外収益合計	8,271	10,302
営業外費用		
支払利息	3,002	2,622
賃貸費用	4,233	4,173
その他	414	82
営業外費用合計	7,650	6,878
経常利益	102,564	58,110
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	1,486	1,681
特別利益合計	1,486	1,681
特別損失		
投資有価証券評価損	3,876	—
特別損失合計	3,876	—
税金等調整前四半期純利益	100,174	59,792
法人税等	20,162	22,281
四半期純利益	80,011	37,510
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,989	△60,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,001	97,854

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	80,011	37,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,386	15,417
為替換算調整勘定	4,450	14,442
その他の包括利益合計	6,837	29,860
四半期包括利益	86,848	67,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,764	117,492
非支配株主に係る四半期包括利益	△41,915	△50,121

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,174	59,792
減価償却費	49,258	57,815
のれん償却額	3,205	9,735
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,134	56,126
支払利息	3,002	2,622
投資有価証券評価損益(△は益)	3,876	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△569,159	△725,941
営業債務の増減額(△は減少)	24,519	58,250
未払金の増減額(△は減少)	△48,197	△183,729
未払費用の増減額(△は減少)	32,995	△71,173
未払消費税等の増減額(△は減少)	33,044	△129,021
預り金の増減額(△は減少)	1,489	369
契約負債の増減額(△は減少)	17,556	84,588
その他	△45,500	△17,206
小計	△359,600	△797,772
法人税等の支払額	△12,779	△68,325
法人税等の還付額	7,475	3,804
その他	△1,492	△570
営業活動によるキャッシュ・フロー	△366,397	△862,864
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,280	△13,471
無形固定資産の取得による支出	△56,684	△36,133
投資有価証券の売却による収入	1,125	—
敷金及び保証金の回収による収入	9,971	△8,505
敷金及び保証金の差入による支出	△108	16,776
その他	△61	△1,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,037	△43,332
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	△100,000	—
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△17,554
社債の償還による支出	—	△7,000
非支配株主からの払込みによる収入	1,238	—
配当金の支払額	△12,729	△12,547
非支配株主への配当金の支払額	△12,958	△13,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124,448	149,750
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,501	13,351
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△573,383	△743,095
現金及び現金同等物の期首残高	2,054,798	2,193,968
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,481,415	1,450,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。